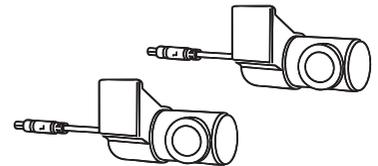
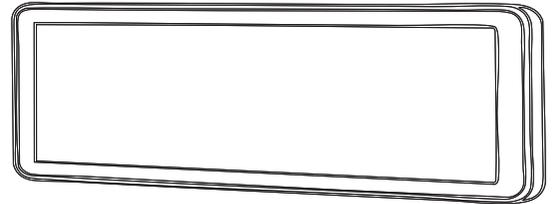




ミラー交換型ドライブレコーダー
取扱説明書
SKY-LM08X



ミラー交換型ドライブレコーダーをご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に安全上のご注意“(P4～ 7)” 使用上のご注意“(P8～ 12)” はご使用前に必ずご一読ください。

お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックス等) に必ず保管してください。

製品の仕様(外観、付属品、ビューア画面等) は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

もくじ

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
製品の特長	13
製品の構成	14
各部名称	15
車両への設置(本体)	21
車両への設置(フロントカメラ)	23
車両への設置(リアカメラ)	24
車両への設置(カメラ)	25
車両への設置(カメラの調整方法)	27
車両への設置(システム)	28
microSDカードの挿入、取り出し方法	30
microSDカードのフォーマット	31
設定メニュー	33
設定	34
画面の表示	40
録画方式	42
録画可能容量	48
ファイル構成とタイムギャップ	50
microSDカード内の構成	51
ファイルの再生	52
ファイルの削除	54
画面の表示	55
専用ビューア	57
本体ソフトウェアのアップデート	66
製品仕様	68
保証書	70

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

取り付け、配線について

警告

- ⊘ **DC12V・24V マイナスアース車以外で使用しない**
DC12V マイナスアース車以外で使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- **エアバッグシステムの動作を妨げる位置には絶対に取り付け、配線をしない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグの衝撃で製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
運転操作を妨げる場所：ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルの近くなど。
交通事故やけがの原因となります。
- **取り付けやアース配線に保安部品を使わない**
保安部品：ステアリング、ブレーキ系統、燃料タンクなどのボルトやナット類など。
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

安全上のご注意

警告

- ⊘ **車両メーカーが指定する禁止エリアに取り付けや配線をしない**
カメラやセンサーなどの車両装置の動作を妨げる恐れがあり、交通事故の原因となります。禁止エリアは車両メーカーにお問い合わせください。
- ❗ **取り付け、配線は安全のため専門業者に依頼する**
取り付け、配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの専門業者にご相談ください。
- **配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外す**
マイナス端子を外さずに作業すると、ショート事故による感電やけがの原因となります。
- **正規の接続をする**
誤った接続をすると火災や事故、故障の原因となります。
- **コード類は取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないように固定する**
ステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
- **車体やねじ部分、シートレールなどの可動部に配線を挟み込まない**
断線やショートにより火災や故障、感電の原因となります。
- **コード類の配線は高温部を避けて行う**
コードの被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。

注意

- ⊘ **水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所には取り付けない**
水や油煙などが入ると発煙や火災、故障の原因となります。
- **振動の多い場所や不安定な場所には取り付けない**
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
- ❗ **付属の電源ケーブルを使用する**
付属品以外の電源ケーブルを使用すると、火災や感電の原因となります。また、電源ケーブルの改造は行わないでください。

安全上のご注意

■ スーパーキャパシタについて

スーパーキャパシタを内部電源として使用しています。外部電源が遮断された後（車の電源が切れたとき）に録画ファイルを保存する等で使用されます。また、スーパーキャパシタの充電時間（本体の電源オン時間）が3分未満の場合、正常なシャットダウンが保証されない場合があり、以下の現象が発生する可能性があります。

- スーパーキャパシタの充電時間が極端に短い場合、LCD が黒画になる。
- シャットダウン ログ（See You !）が表示されない、または不完全に表示される。
- シャットダウン時に「xx カメラの接続異常」と表示される場合がある。
- 破損ファイル（録画時間が無いファイルや、0 秒表示のファイル）が生成される。
- 設定内容が保存されない（例：カメラ切替の設定、カメラ表示調整、明るさの設定など）。
- SD カードのファイルシステムを常時監視している為、SD カードのフォーマットを要求するメッセージが表示される。

■ 内蔵電池（リチウムマンガン電池）について

本製品は時計のバックアップをするためのリチウム二次電池を内蔵しています。購入直後はバッテリーが十分に充電されていませんので、時刻がリセットされるときは本製品の電源を1～2時間オンにして充電してください。

⚠ 危険



- 内蔵電池を分解したり、改造しない
- 本体以外で充電しない
- 加熱したり、火の中にいれない
- 火のそばやストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下など、高温の場所で使用したり、充電、放置しない
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。



- 電池が液漏れて液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受ける
目に障害を与える原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告



- 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる



- 電池が液漏れしたり、異臭、変色、変形したときは使用しない

使用について

⚠ 警告



- 本機を分解、改造しない

火災や感電、故障、データ損失の原因となります。
分解、改造が故障の原因と認められた場合、保証は適用されません。



- 運転中に操作しない

交通事故やけがの原因となります。
必ず安全な場所へ車を停車させ、パーキングブレーキをかけた状態で操作を行ってください。

- 機器内部に水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



- 故障や異常な状態のまま使用しない

万一煙が出る、変なにおいがする、内部に異物が入った、水がかかったなどの場合はただちに使用を中止してください。そのまま使用になると事故や火災、感電の原因となります。お買い上げの販売店、もしくは弊社サービスにご相談ください。

- ヒューズは必ず規定容量品を使用する

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量品と交換してください。

⚠ 注意



- 本機を車載用以外には使用しない
火災や感電、故障、けがの恐れがあります。

使用上のご注意

- ほかの無線機やテレビ、テレビチューナー、ラジオ、パソコン、GPSなどの近くで使用すると、影響を受けたり与えたりすることがあります。
- 本機を高温、及び低温に長期間放置しないでください。一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。結露のない状態でご使用ください。
- レンズは常に清潔な状態でお使いください。レンズが汚れますと画質が低下します。お手入れはレンズクロスなどで拭いてください。
- 長時間使用する場合、通風しを良くしてください。本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。
- バイザーはゆっくり下げてください。本体に接触してカメラの向きが変わる可能性があります。
- 本機の掃除やお手入れの際には、水、ワックス、その他の洗剤をかけないでください。故障や感電を引き起こす可能性があります。
- 本機で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に接触しないよう注意してご利用ください。
- 本機は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本機は日本仕様です。海外ではご使用になれません。

使用上のご注意

使用できる microSD カードについて

本書では特にことわりのない限り「microSDHC カード」、
「microSDXC カード」を「microSD カード」と総称して表記しています。
本機では下記の SD 規格に準拠した microSD カードに対応しています。
下記以外の microSD カードは使用できません。

- **microSDHC カード**
容量：16～32GB、スピードクラス：CLASS10 以上
- **microSDXC カード**
容量：64GB～128GB スピードクラス：CLASS10 以上

※microSD カードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行ってください。

microSDカードの注意事項

- 本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSD カードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。安心してお使いいただくため、定期的なフォーマットしていただくことをお勧めします。
- 大切なデータはパソコンや他の記録メディアなどに保存（コピー）してください。
- microSD カードは消耗品です。定期的に新しい microSD カードに交換することをお勧めします。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態でもicroSDカードの抜き差しを行うと録画されたファイル、またはmicroSDカードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合がありますので下記手順をお守りください。

microSDカードの抜き差し手順

<microSDカードの抜き方>

1. ドライブレコーダーの電源をオフにして、画面が消灯したことを確認します
2. ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出します。
microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

<microSDカードの挿し方>

本体の電源が切れている状態でmicroSDカードを挿入します。
microSDカードの向きに注意して、カチッと音がするまで挿入してください。

注意

-  本製品は、電源が入ったままでmicroSDカードを抜くと、本体が強制終了しますので、その際は再度microSDカードを挿入し、「電源ボタン」を長押し（3秒以上）するか、エンジンを再始動（ACCオン）して下さい。

使用上のご注意

注意

本体の電源が入ったままの状態でも、電源ケーブルまたはカメラケーブルの抜き差しを行うと、ドライブレコーダーが正常に動作しなくなる場合や、microSDカードのフォーマットを要求してくる場合があります。必ず電源が切れている状態で行ってください。

GPS信号受信の注意事項

- GPS衛星は米国政府によって運用されている測位システムです。
- 初めてご使用になるときや長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS衛星から信号を受信し位置を測位するまで長時間かかる場合があります。
- GPS衛星からの信号を受信できない場所（トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など）では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。
- 熱線反射タイプ、または熱線吸収タイプのフロントガラスには電波を通さないものがあり、GPS衛星から信号を受信できない場合があります。フロントガラスの種類、電波透過性の詳細については販売店やカーディーラーにお問い合わせください。

使用上のご注意

保証範囲

- 本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ（無録画時間）が存在します。
- 録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご活用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- 本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責任を負いません。
- 本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、microSDカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責任を負いません。
- 車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

次の場合は故障ではありません

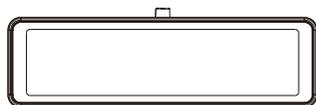
- LED の信号機やテール / ストップ / ウィンカーランプは録画した映像で点滅、または消灯したように映る場合があります。
- 動作中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- G センサーは衝撃の方向によって検知が異なるため衝撃検知録画ファイルが生成されない場合があります。

製品の特長

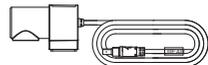
- **フル HD ドライブレコーダー+デジタルバックミラー**
前後2つのカメラで高画質録画をすると同時に、広角映像をミラーに映すことで、安全に後方確認をすることができます。
- **明るい液晶**
高輝度 LCD の採用で明るく見やすい。
- **STARVIS/ 防眩機能搭載夜間の走行を安全にサポート**
カメラに、STARVIS 技術を搭載した高性能 CMOS イメージセンサーを使用。昼夜問わず映像の撮り逃がしを防止します。また、防眩効果で、夜間の後続車両のヘッドライトの眩しさを自動で軽減します。
- **ハイダイナミックレンジ(HDR)/ ワイドダイナミックレンジ(WDR)**
明暗差が激しい映像でも広ダイナミックレンジ技術により、白飛び / 黒つぶれを抑えます。フロントカメラに WDR、リアカメラに HDR を搭載。
- **スムーズな映像**
リアカメラは、高フレームレート (55fps) 採用でストレスが無いスムーズな動きを再現。
- **リアカメラ映像拡大表示**
リアカメラ映像を画面内のアイコンタップで拡大(×1.5 倍 / ×2 倍)表示可能。
- **録画方式**
常時録画、手動録画、衝撃検知録画、駐車監視録画、タイムラプス録画
- **スモークガラス設定搭載**
リアガラスの濃淡に対し3段階の明るさで調整ができます。
- **車内後方の同乗者や座席、荷物が視界が遮られても、後方の視界を確保**
同乗者や荷物などで視界が遮られる場合や、雨天や夜間など視界が悪くなる場合など、後方視界確保が困難になる場面で車両後部に取り付けた 200 万画素の高画質リアカメラが、クリアで広範囲な映像で運転をサポートします。
- **GPS**
GPS は本体に内蔵し、面倒な配線が不要。
- **専用ビューア**
記録した位置情報や G センサーのグラフを表示して再生することができます。

製品の構成 (同梱品一覧)

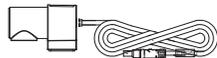
■ 製品購入後、同梱品をご確認ください。



ミラー交換型ドライブレコーダー本体



フロントカメラ
(ケーブル長 0.5m)



リアカメラ
(ケーブル長 1.0m)



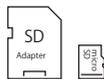
リアカメラケーブル
(ケーブル長 8.5m)



直接電源ケーブル (ケーブル長 4.5m)



カメラ用両面テープ
(予備) ×2 枚



SD カードアダプター
microSDHC カード 32GB



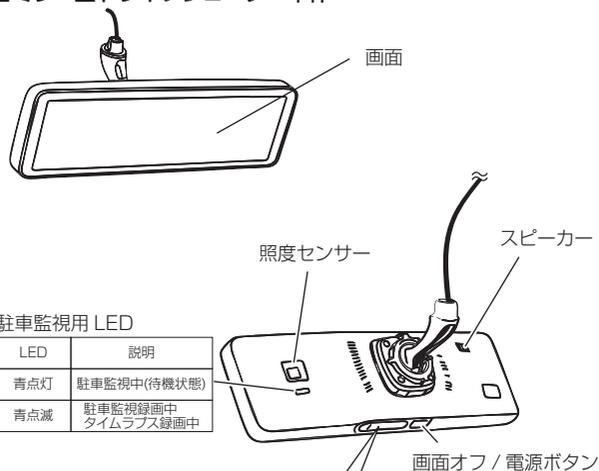
技術基準適合確認書



取扱説明書
(保証書付き)

各部名称

■ミラー型ドライブレコーダー本体



駐車監視用 LED

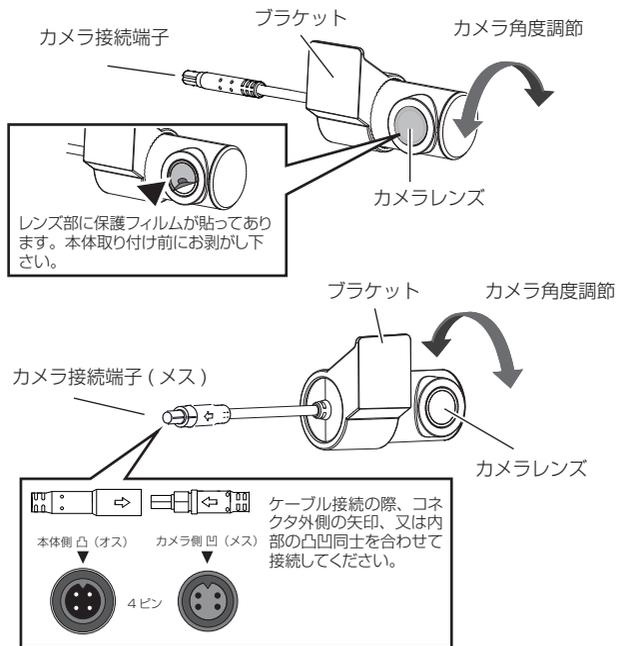
LED	説明
青点灯	駐車監視中(待機状態)
青点滅	駐車監視録画中 タイムラプス録画中



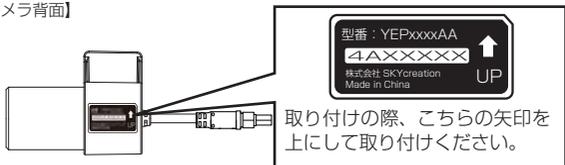
リセットボタン
正常に動作しないときに、伸ばしたクリップ
などを差し込んで押してください。

各部名称

■フロント・リアカメラ共通項目



【カメラ背面】



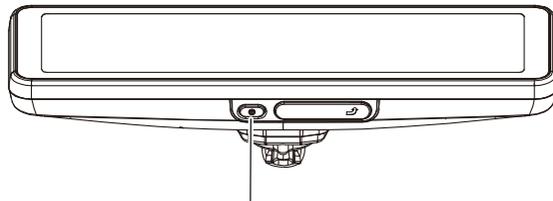
各部名称

■電源オン/電源オフ

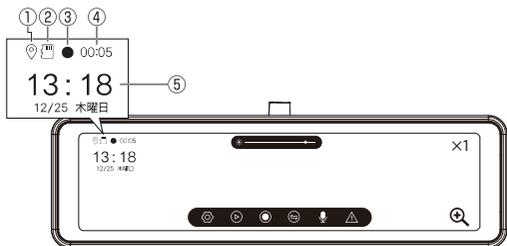
お車のエンジンを始動、(ACC がオン) に連動して【電源がオン】します。
お車のエンジンを停止、(ACC がオフ) に連動して【電源がオフ】します。

■本体での操作

「画面オフ/電源」ボタンを長押しで【電源がオフ】になります。
電源オフ状態から短押しすると再び【電源がオン】します。
※「画面オフ/電源」ボタンの短押しで【画面がオフ】します。
再び短押しすると【画面がオン】されます。
画面タップでも元の画面に切り替えることができます。



各部名称



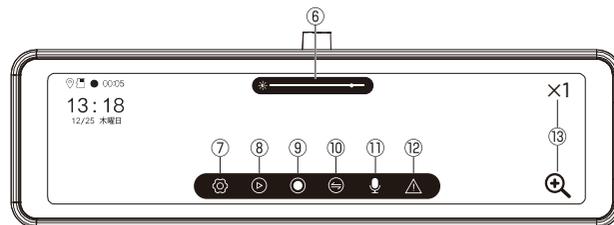
※画面の表示は、リアカメラ画面の状態です、
「画面の明るさ自動調整」オフ時の表示です。

■ 画面名称

上記図の様に本体に電源が入ると左上にアイコンなどが表示されます。

- ① GPS
GPS の受信状態を表示します。
GPS 受信中 : (緑)
GPS 未受信 : (白)
- ② SD カード
SD カードの状態を表示します。
SD カード挿入時 : 
SD カード未挿入 / 未フォーマット時 : 
- ③ 録画マーク
録画中 : ● (赤表示点滅)
録画停止中 : (表示なし)
衝撃検知録画・手動録画時 : ● (黄表示点滅)
- ④ 録画時間
録画時間を表示します。
常時録画時 : 赤
衝撃検知録画・手動録画時 : 黄
- ⑤ 日時表示
日時曜日を表示します。

各部名称



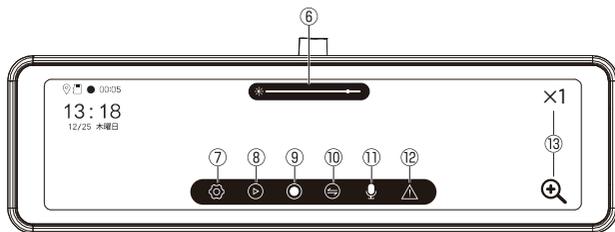
※画面の表示は、リアカメラ画面の状態です、
「画面の明るさ自動調整」オフ時の表示です。

■ 操作アイコン一覧

画面をタップすると、上記図の様に画面に各操作アイコン一覧が表示されます。各アイコンを押すと下記の様な切り替えが出来ます。

- ⑥ 画面輝度調整
手動明るさ調整時に表示します。
自動明るさ調整時 (初期設定) は表示されません。
画面の明るさを調整します。
- ⑦ 設定メニュー
設定メニューに移動します。
- ⑧ 再生メニュー
再生メニューに移動します。
- ⑨ 録画操作
録画を開始 / 停止ができます。
録画中 : ● (赤表示)
録画停止 : ○ (白表示)
- ⑩ カメラ切り替え
画面に映るカメラの切り替えができます。
リアカメラ ⇄ フロント / リアカメラ ⇄ フロントカメラ
- ⑪ 音声録音
録画中の音声録音を ON/OFF できます。
音声 ON : 
音声 OFF : 

各部名称



※画面の表示は、リアカメラ画面の状態です、
『画面の明るさ自動調整』オフ時の表示です。

■ 操作アイコン一覧つづき

画面をタップすると、上記図のように画面に各操作アイコン一覧が表示されます。各アイコンを押すと下記のような切り替えが出来ます。

⑫ 手動録画

手動録画を開始します。手動録画が終わると常時録画に戻ります。

⑬ リアカメラ画面の倍率

表示倍率の変更が出来ます。

アイコンを押すたびに×1⇒×1.5⇒×2と切り替えが出来ます。

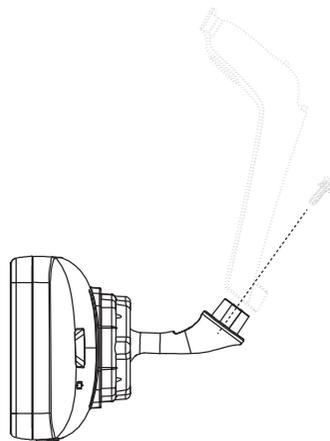
- 拡大方法は、P.27「**■ レンズの角度調整**」の「2.」の項目で調整をするリアカメラの「録画したい映像範囲」の中心部から拡大されます。画面を見ながら上下にスワイプして、お好みの表示位置に調整してください。
- 画面表示の倍率変更は、変えるたびに表示位置を調整してください。最後に調整した倍率の位置でメモリーされます。
- 画面拡大に連動して、録画映像の倍率も切り替りますのでご注意ください。
(例：画面を×2とした場合、その設定を維持している間の録画映像が×2となります)
- 拡大した画面表示(リアカメラ画面)以外の表示(フロントカメラ画面表示/2画面表示)の場合は、常に×1の録画映像となります。

※ 倍率表示 / アイコンは、リアカメラ画面の時のみ表示され、調整が出来ます。

車両への設置 (本体)

■ ミラー交換型ドライブレコーダー本体取り付け

1. 本製品のみでは、車両への取り付けは出来ません。別売の専用取付ブラケットをご購入下さい。
2. 別売の専用取付ブラケットに同梱されている座金付きねじを使用し、本体にブラケットを固定します。

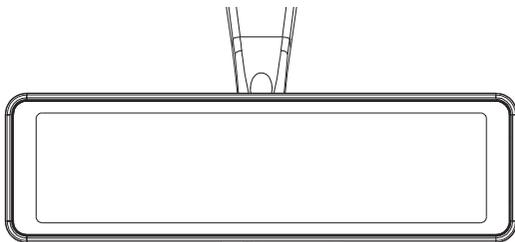


3. 車両に取り付いている純正ミラーを取外し、取り外したねじを使用し、本品を取り付けます。

※ブラケットが、車両側の樹脂部品やセーフティセンサーカバーと干渉する場合は、加工（一部カット）する必要があります。様々な車両への取り付けを考慮し、汎用性を持たせたブラケットとなりますのでご了承願います。また、加工後に樹脂カバーがブラケットの一部を隠せなくなりますことをご承知ください。

車両への設置（本体）

■ ミラー交換型ドライブレコーダー本体取り付け



4. フロント/リアカメラの映像を確認しながら、カメラの角度調整を行ってください。詳しくは(⇒P.27)を参照。

⚠ 警告

- ・本製品は、既存ミラーとは距離間、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
- ・本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障・破損の原因になります。

車両への設置（フロントカメラ）

■ 取り付けの前に…

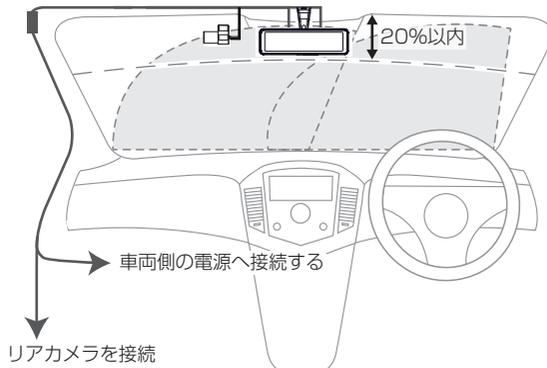
取り付け作業を行う前に「安全上のご注意」を再確認し、必ずお守りください。また、取り付け時の注意に従い作業を行ってください。

⚠ 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください

取り付け時の注意

- フロントカメラは必ずフロントガラスの上部 20% の範囲内に取り付けて下さい
- 視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
- 検査標章などを避けて取り付けてください。
- 両面テープは再接着できません。ブラケットを仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。
- ケーブルは運転の妨げにならないようテープやクランプで固定するなどしてください。

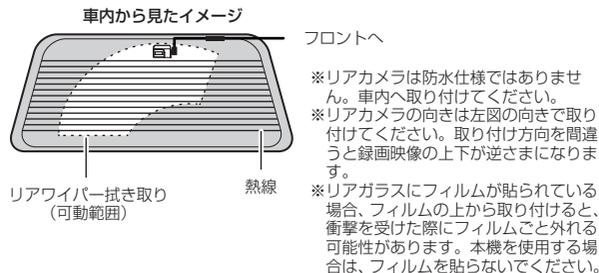
■ 取り付けイメージ



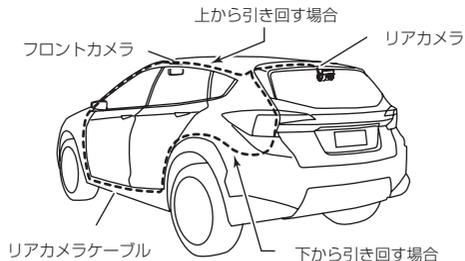
車両への設置（リアカメラ）

■ 取り付けの前に

リアガラスに熱線がある場合は、熱線に取付ブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱源を破損させるおそれがあります。



■ ケーブルの引き回し例



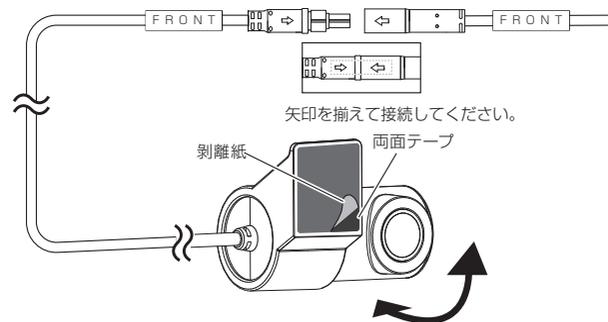
※上記のイラストは一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。
※ケーブルが視界の妨げや運転操作、エアバッグ動作に支障がないように配線してください。
※バックドアやトランクなどを開閉し、ケーブルが挟まれないか確認してください。またバックドアやトランクなどを開閉したときに、ケーブルが引っ張られる場合は、ケーブルを余分にたるませて配線してください。

車両への設置（カメラ）

■ カメラの取り付け

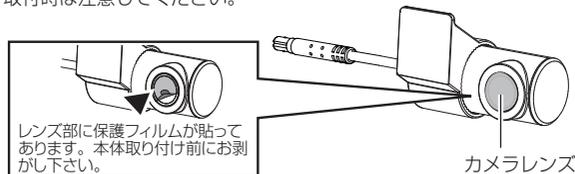
1. 取り付け時の注意に従い適切な位置を決め、ガラスの汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。
2. 本体の取り付け位置を決めたら両面テープの剥離紙を剥がし、本体をガラスにしっかりと貼り付けます。

※両面テープは再接着できません。本体を仮止めし、映像を記録・再生するなどして取り付け位置をよく確認してください。



3. カメラ本体をまわして角度を調整します。

※フロント用カメラには、**FRONT** のタグが付いています。
リア用カメラには、**REAR** のタグが付いています。
取付時は注意してください。



車両への設置（カメラ）

■ カメラ接続時の注意

フロントカメラ / リアカメラいずれのカメラも、接続に異常があると以下の能な表示が出る場合があります。



フロントカメラ接続異常
確認してください

リアカメラ接続異常
確認してください

この画面表示が表示された場合は、コネクターの誤挿しや、接続ミスが考えられます。

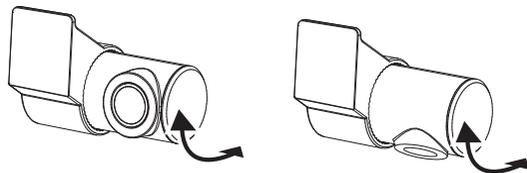
今一度、フロントカメラ/リアカメラの挿し間違えが無いか、またはコネクターがちゃんと奥まで挿入されているかをご確認ください。

この表示は、接続異常が解消されるまで表示されます。
表示されている場合は、そのカメラは録画されませんのでご注意ください。

車両への設置（カメラの調整方法）

■ レンズの角度調整

1. カメラ本体の貼り付けたブラケット部をしっかりと保持し、カメラレンズ部の円柱形状を回転させることにより、レンズの上下方向を調整できます。



2. 録画したい映像範囲は、本体画面内の「カメラ切り替え」ボタンで2画面状態にし、画面を見ながら調整してください。



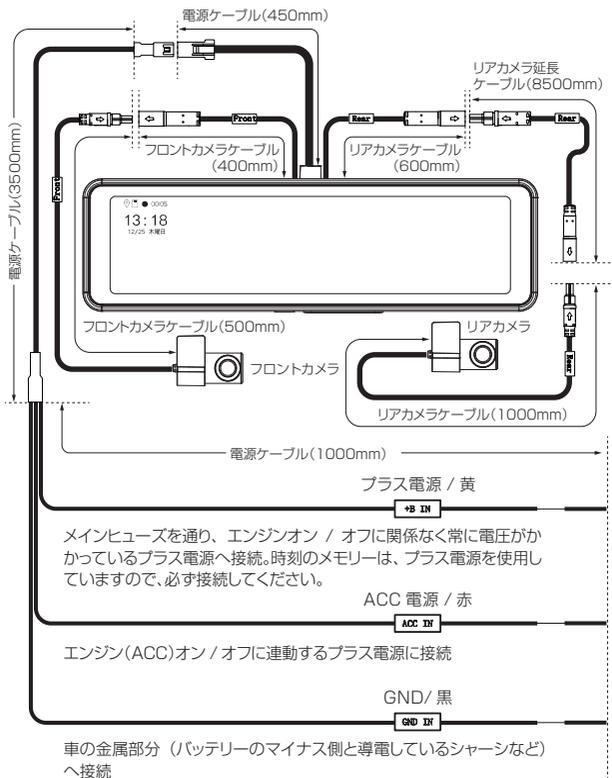
※画面の表示は、リアカメラ画面の状態、[画面の明るさ自動調整] オフ時の表示です。



車両への設置 (システム)

■ 接続方法

フロント / リアカメラ、カメラ分配ケーブル、リアカメラケーブル、電源ケーブルを接続します。



車両への設置 (システム)

■ 接続後の確認

1. ケーブルの接続時、コネクタ部の矢印と形状を確認し、下記図の様に向きに気をつけて接続してください。
2. ケーブルの接続後、余ったケーブル類は運転の妨げにならないよう束ねてテープやクランプで固定するなどしてください。
3. お車のエンジンを始動、または ACC をオンにして本機の電源をオンにします。
問題なく本機が動作することを確認してください。

フロントカメラ



リアカメラ



フロントカメラ / リアカメラの形状は同じです。
下図の項目を確認し、同じ名称のコネクタを接続ください。



ケーブル側 凹 (オス)



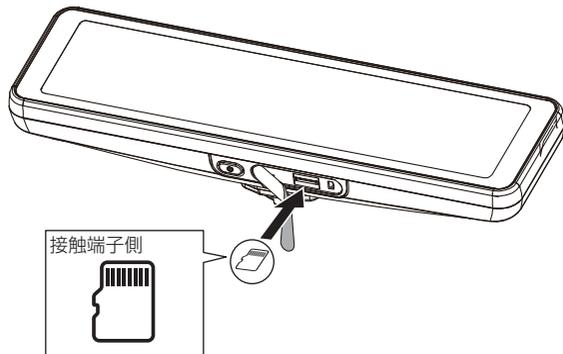
本体側 凸 (メス)

microSD カードの挿入、取り外し方法

microSD カードの抜き差しを行う場合は、必ず本体の電源がオフで画面が消灯していることを確認してから行ってください。本体動作中に microSD カードを抜いた場合、『microSD カード異常が発生しました。microSD カードを確認してください。』等の表示が出る場合があります。

■ microSD カードの挿入

microSD カードは下図の向きでカチッと音がするまで挿入します。



■ microSD カードの取り出し

microSD カードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

microSD カードの挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください。
また、常に microSD カードをケースに入れて持ち運びください。

microSD カードのフォーマット

■ microSD カードのフォーマットについて

microSD カードは定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかを確認してください。安心してお使いいただくため、1 ヶ月に 2 回程度は microSD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

※フォーマット時にはすべてのデータが削除されます。大切なデータは必ずパソコンなどにバックアップを作成してください。

■ microSD カードの挿入後の認識不良について

microSD カードを挿入後、「microSD カードがありません。microSD カードを挿入してください」画面表示及び、音声案内が発生する場合や、「microSD カード異常が発生しました microSD カードを確認してください」と画面表示された場合は、本機に適合しない、または microSD カードの不良の可能性がありますので、microSD カードの交換をおすすめ致します。

⚠ フォーマットは必ず本機で行ってください

※本機でお使いいただく microSD カードは、本機専用としてお使いください。

※本機で使用中の microSD カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができなくなる場合があります。

※他の機器で使用した microSD カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

※定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。

microSD カードのフォーマット

■ フォーマット手順

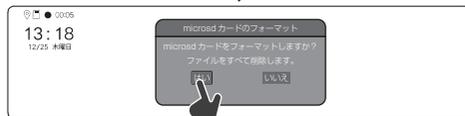
本機の電源がオン状態で、「設定」ボタンを押すと録画が停止し、設定メニューを表示します。



設定

※画面の表示は、リアカメラ画面の状態です。「画面の明るさ自動調整」オフ時の表示です。

設定メニューを上下にスクロールし [microSD カードのフォーマット] を選択、フォーマットメニューが表示されましたら「はい」を選択しフォーマットを実行します。

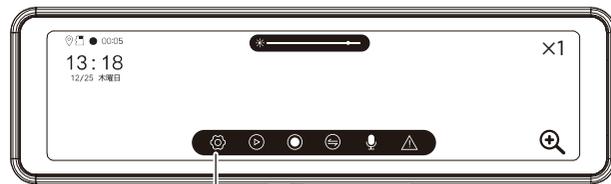


※フォーマットは途中で中止することができません。操作には充分ご注意ください。
※フォーマットが完了するまでmicroSDカードを抜いたり、電源をオフにしないでください。

設定メニュー

■ 設定メニュー表示

「設定」ボタンを押すと録画が停止し、メニュー画面が開きます。各種設定変更を行えます。



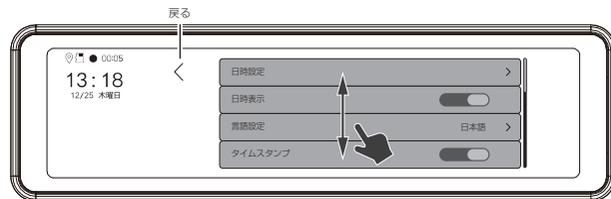
設定

※画面の表示は、リアカメラ画面の状態です。「画面の明るさ自動調整」オフ時の表示です。

■ メニュー画面

画面のタップ操作で項目を選びます。目的の項目が表示されていない場合、上下にスクロールすると項目が出てきます。

前の画面に戻るには画面上部の【<】(戻る)をタップします。

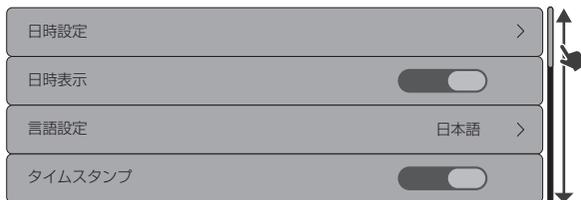


※メニュー画面の状態、無操作が約 20 秒以上続くと自動で常時録画に切り替わります。

設定

■ メニュー画面

変更する項目をタップして選択します。



 : オン  : オフ

- 日時設定
日時の設定ができます。
※GPS信号を受信すると日時が自動で設定されます。
- 日時表示 (初期設定:オン)
画面の日時の表示: オフ (非表示) / オン (表示)
- 言語設定 (初期設定:日本語)
メニューなどの言語設定: 日本語/English
- タイムスタンプ (初期設定: オン)
録画ファイル再生時に、画面内に表示される日時の表示/非表示設定: オフ/ オン

設定

■ メニュー画面

変更する項目を上下にスクロールし、タップして選択します。



 : オン  : オフ

- リアカメラ鏡像 (初期設定: 鏡像)
リアカメラの表示を設定: 正像 / 鏡像
- リアカメラ優先表示 (初期設定:オン)
液晶画面の優先表示設定: オフ/ オン
- 明るさを自動調整 (初期設定:オン)
液晶画面の明るさを自動調整する設定: オフ / オン
- スモークガラス設定 (初期設定:オフ)
リアガラスの色に応じて3段階で、リアカメラ表示の明るさを設定
できます。
オフ : リアガラスに色が付いていない場合に選択してください
Lev1 : リアガラスに薄い色が付いている場合に選択してください。
Lev2 : リアガラスに濃い色が付いている場合に選択してください。
※ガラスの種類によっては、効果が得られない場合もあります。

設定

■ メニュー画面

変更する項目を上下にスクロールし、タップして選択します。



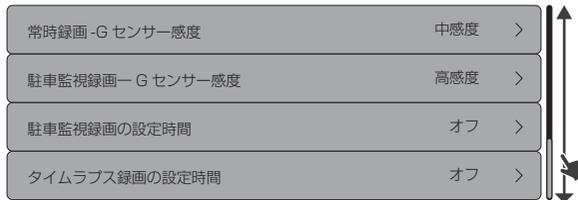
 : オン  : オフ

- ・ 音声案内 (初期設定: オン)
本体の音声案内の設定: オフ / オン
- ・ アイコン表示 (初期設定: オン)
画面左上アイコン (GPS/SDカード/日時) の表示設定: オフ/オン
- ・ 操作音 (初期設定: オン)
本体操作音の設定: オフ / オン
- ・ 音量設定 (初期設定: 5)
本体の操作音量/音声案内の音量の設定: 0~10 (11段階設定)

設定

■ メニュー画面

変更する項目を上下にスクロールし、タップして選択します。



- ・ 常時録画-Gセンサー感度 (初期設定: 中感度)
常時録画時のGセンサー感度設定: 低感度/中感度/高感度
- ・ 駐車監視録画-Gセンサー感度 (初期設定: 高感度)
駐車監視録画時のGセンサー感度設定: 低感度/中感度/高感度
- ・ 駐車監視録画の設定時間 (初期設定: オフ)
駐車監視録画の時間設定: オフ/2H/4H/6H/12H (⇔P.44)
- ・ タイムラプス録画の設定時間 (初期設定: オフ)
タイムラプス録画の時間設定: オフ/2H/4H/6H/12H (⇔P.47)
※ 駐車監視またはタイムラプスの設定はどちらか一方のみの設定となり同時設定は出来ません。

設定

MEMO

■ メニュー画面

変更する項目を上下にスクロールし、タップして選択します。



- タイムラプス録画の電圧管理(初期設定: 12.4V)
タイムラプス中の電圧設定: 12/12.4/12.8V、24/24.4/24.8V
に変更願います。
※設定の電圧未満になると、設定時間に関わらず動作を停止します。
- 周波数(初期設定:50Hz)
周波数の設定:50Hz/60Hz
- リセット
本体機能を工場出荷時の状態に戻します。
- microSDカードのフォーマット
microSDカードをフォーマットします。
- ソフトバージョン
本機のシステムのバージョンを表示します。

画面の表示

■ カメラ切り替え

- 画面をタップし画面下の「カメラ切り替え」ボタンをタップすることで切替ができます。



- リアカメラ表示から、カメラを切り替わる度に、【リアカメラ】→【フロント/リアカメラ2画面表示】→【フロントカメラ】→【リアカメラ】と順に切り替わります。

リアカメラ



フロント/リアカメラ2画面表示



フロントカメラ



- ※「リアカメラ優先表示」を「オン」にしておくことで、2画面表示 / フロントカメラ表示は約10秒でリアカメラ表示に切り替わります。

画面の表示

■ カメラ表示調整

- 液晶の表示は、実際の録画データより表示できる範囲が限られています。液晶パネルを上下にスワイプすることで表示したい部分に調整することが可能となります。
- 画面を元に上下にスワイプすることでカメラの表示範囲を調整出来ます。

リアカメラ

アイコン類は下記の内容が全て表示されます。



- ※リアカメラ表示時のみ右下のアイコンを押すたびに $\times 1 \rightarrow \times 1.5 \rightarrow \times 2$ と切り替えが出来ます。

- ※画面の表示は、リアカメラ画面の状態で、『画面の明るさ自動調整』オフ時の表示です。

フロントカメラ

アイコン類は上記の内容の拡大アイコン以外が表示されます。



- ※【フロント/リアカメラ2画面表示】ではカメラ表示調整は出来ません。

録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画、駐車監視録画、タイムラプス録画があります。

■ ファイル名について

- ファイル名はファイル種類 + 録画した年月日 + 時分秒 + 追番 + カメラ種類で作成します。

※録画ファイル構成については(⇒P.49)をご確認ください。

FILE240617-110926-000001F.MOV



1. 常時録画

本機はお車のエンジンを始動、またはACCがオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。開始は音声でお知らせします。1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。

※音声案内がオフ、ボリューム設定がオフのときは音声案内はありません。



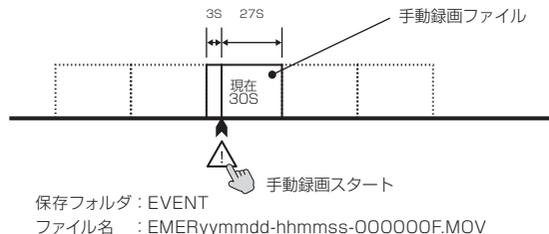
保存フォルダ : NORMAL

ファイル名 : FILEyymmdd-hhmmss-xxxxxF.MOV

録画方式

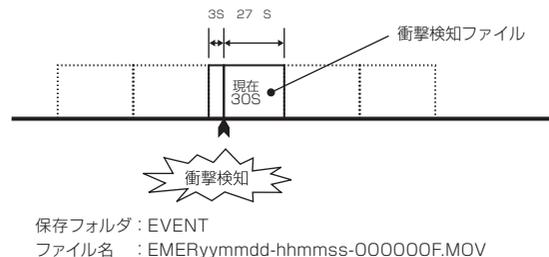
2. 手動録画

常時録画中に「手動録画」ボタンをタッチすると、手動録画ファイルを作成します。ボタンがタッチされたタイミングから前3秒、後27秒、計30秒間を1つのファイルとし、手動録画ファイルとして保存します。手動録画中は画面上の録画マークが黄色に点滅します。



3. 衝撃検知録画

常時録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。検知したタイミングから前3秒、後27秒、計30秒間を1つのファイルとし、衝撃録画ファイルとして保存します。衝撃録画中は画面上の録画マークが黄色に点滅します。



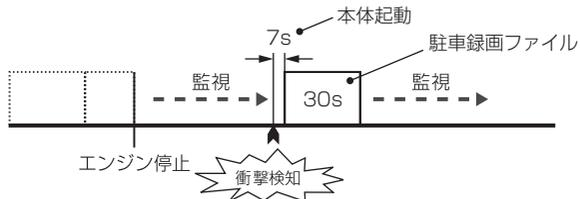
録画方式

4. 駐車監視録画

駐車中（ACC オフ後）も車両バッテリーから電源が供給され、本機が衝撃を検知した場合に録画をします。待機中は、本製品の電源はオフ状態ですが G センサーのみが起動しており、衝撃を受けた後に本体が起動し、約 30 秒間駐車監視録画を行います。

※音声案内がオフ、ボリューム設定がオフのときは音声案内はありません。

※使用する場合は設定が必要です。



保存フォルダ : PARK

ファイル : PARKyyymmdd-hhmmss-000000F.MOV

⚠ 駐車監視の注意

- 駐車監視の設定が必要です。
- 駐車監視録画とタイムラプス録画の併用はできません。
- 駐車監視録画の設定時間（初期設定：オフ）(⇒P.37)
駐車中に録画を行う場合は 2H/4H/6H/12H から時間を設定します。
- 駐車監視中に（設定時間内に）、車両のエンジン始動（ACC オン）を行うと動作は停止し、録画設定時間はキャンセルされ、常時録画に移行します。
- 駐車監視中は車両バッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負担が掛かります。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。
- 車両バッテリーの充電状況や劣化などにより起動しない場合や、動作を停止する場合があります。
- 本機の温度が動作範囲（-20℃～65℃）を超えると動作を停止する場合があります。
- 車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

録画方式

4. 駐車監視録画(つづき)

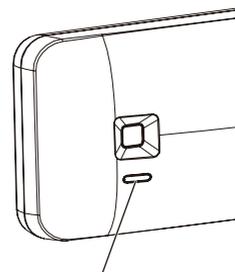
エンジン停止（ACC オフ）から約 25 秒後に下記案内「駐車監視をオンします」が表示され、表示が消えると共に駐車監視を開始します。

※エンジン停止（ACC オフ）から約 30 秒間は常時録画が継続されます。



● 駐車監視用動作確認 LED

LED	説明
青点灯	駐車監視中(待機状態)
青点滅	駐車監視録画中 タイムラプス録画中



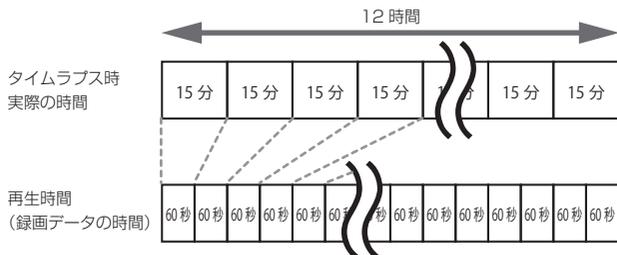
駐車監視用 LED

録画方式

5. タイムラプス録画

エンジンを停止して本製品の電源がオフになった後でも、車両バッテリーから電源が供給され、タイムラプス録画を行います。使用する場合は設定が必要です。

※タイムラプス録画とは、撮影するコマ数を少なくし一定間隔で撮影された画像をつなげ合わせることで、早送り再生したような動画を録画再生できる機能です。



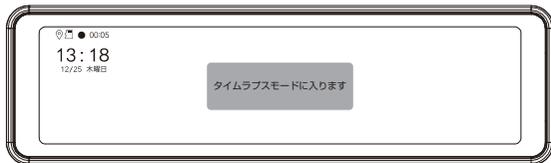
保存フォルダ : CCTV

ファイル名 : CCTVyyymmdd-hhmmss-000000F.MOV

5. タイムラプス録画(つづき)

エンジン停止 (ACC オフ) から約3秒後に下記案内「タイムラプスモードに入ります」が表示され、表示が消えると共にタイムラプス録画を開始します。

※エンジン停止 (ACC オフ) から約8 秒間は常時録画が継続されます。



録画方式

5. タイムラプス録画 (つづき)

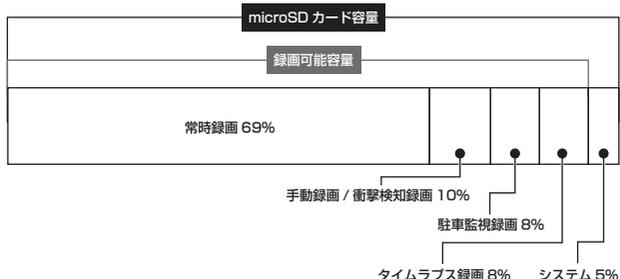
⚠ タイムラプス録画時の注意

- タイムラプスの設定が必要です。
- 駐車監視録画とタイムラプス録画の併用はできません。
- タイムラプス録画の設定時間 (初期設定 : オフ) (⇒P.37) 駐車中に録画を行う場合は 2H/4H/6H/12H から時間を設定します。
- タイムラプス中に (設定時間内に)、車両のエンジン始動 (ACC オン) を行うと動作は停止し、録画設定時間はキャンセルされます。
- タイムラプス中は車両バッテリーを使用するため、車両バッテリーへの負担が掛かります。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。
- タイムラプス録画中、車両バッテリーの電圧が『タイムラプスの電圧管理』(⇒P.38) で設定した電圧未満になると、録画設定時間に関わらず動作を停止します。また、動作が停止した場合は、録画設定時間はキャンセルされます。
- 車両バッテリーの充電状況や劣化などにより起動しない場合や、動作を停止する場合があります。
- 本機の温度が動作範囲 (-20℃~65℃) を超えると動作を停止する場合があります。
- 車両のバッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

録画可能容量

■ 録画可能容量について

- microSD カードの容量から、システム予約を引いた残りが録画可能容量となります。
- 録画可能容量の約69%が常時録画、約10%がイベント録画（手動録画/衝撃検知録画）、約8%が駐車監視録画、約8%がタイムラプス録画、システムが5%の容量となります。



■ タイムラプス録画 録画時間目安

1 ファイルあたりに記録される実際の時間（記録時間）と録画データ自体の長さ（再生時間）は下記を参考にしてください。

設定時間	カード容量	実際の時間	録画ファイルの時間	ファイル数	合計記録時間
2H	32GB	15分	60秒	約8	約120分
	64GB				
	128GB				
4H	64GB	15分	60秒	約16	約240分
	128GB				
	128GB				
6H	64GB	15分	60秒	約24	約360分
	128GB				
	128GB				
12H	128GB	15分	60秒	約48	約720分

※指定した設定時間が、全て録画できないカード容量は記載しておりません。

※各録画ファイルの時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考となります。

録画可能容量

■ microSD カード容量別録画時間

microSD カード容量	録画時間			
	常時録画	イベント録画	駐車監視録画	タイムラプス録画
16GB	約37分	約5分	約4分	約90分
32GB	約74分	約10分	約8分	約180分
64GB	約148分	約21分	約17分	約375分
128GB	約297分	約43分	約34分	約750分

・各録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考となります。

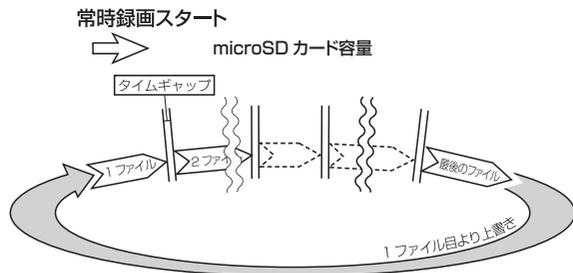
・イベント録画は手動録画と衝撃検知録画の合計です。

ファイル構成とタイムギャップ

■ ファイル構成

録画中は設定された時間毎に録画ファイルが作成されます。

microSD カードの常時録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。



※ 1 ファイル分の録画時間に満たない状態で電源を切った場合には、その時点までのファイルが作成されます。

※ 大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

■ タイムギャップ

タイムギャップ（ファイル間の無録画時間）は理論上約 0.1 秒あります。

ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。その間は録画はされません。

※ データ保存のためには電源を切り、LED が消灯してから microSD カードを抜き取ってください。

※ 実際のタイムギャップは約 0.1 秒より短くなる場合があります。

microSD カード内のファイル構成

■ 録画ファイル構成



microSD カード内

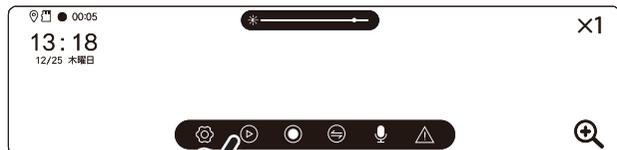
CTTV ・タイムラプス録画	F : CCTVyymmdd - hhmmss - 000000F. MOV R : CCTVyymmdd - hhmmss - 000000R. MOV :
EVENT ・衝撃検知録画/手動録画	F : EMERyymmdd - hhmmss - 000000F. MOV R : EMERyymmdd - hhmmss - 000000R. MOV :
NORMAL ・常時録画	F : FILEyymmdd - hhmmss - 000000F. MOV R : FILEyymmdd - hhmmss - 000000R. MOV :
PARK ・駐車監視録画	F : PARKyymmdd - hhmmss - 000000F. MOV R : PARKyymmdd - hhmmss - 000000R. MOV :



GPS Media Player Viewer.exe
(専用ビューアダウンロードファイル)

ファイルの再生

本機で録画したファイルを再生できます。画面下のアイコンから「再生」ボタンをタップすると録画が停止し、【再生メニュー】が表示されます。



※画面の表示は、リアカメラ画面の状態で、「画面の明るさ自動調整」オフ時の表示です。

■ 再生メニュー画面

再生したい録画ファイルの種類を「録画ファイルアイコン」と「フロント / リアカメラ」から選択します。表示された録画ファイルの中から再生したいファイルをタップします。前の画面に戻るには左上の「<」を押し戻ります。



録画ファイルアイコン

再生時間

録画時間 画面拡大

□: 常時録画

📷: 衝撃検知録画 / 手動録画

🚗: 駐車監視録画

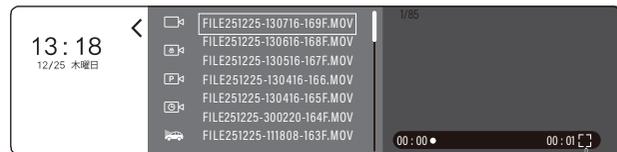
🕒: タイムラプス録画

📹: フロントカメラ / リアカメラ

ファイルの再生

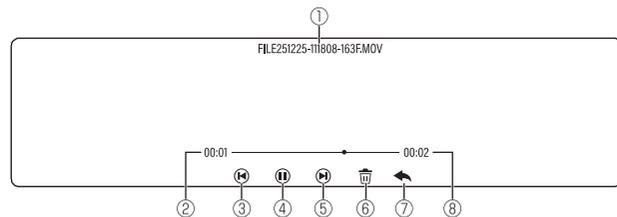
■ 再生画面

再生したいファイルを選択すると、右の画面に表示され再生が始まります。



画面拡大

『拡大画面』ボタンを押すと画面全体で見る事が出来ます。再生が終わると、再生メニュー画面に戻ります。ファイルの再生中は再生操作が出来ます。



①ファイル名

②再生時間

③戻る（ひとつ前のファイルに戻ります。）

④再生 / 一時停止

⑤進む（次のファイルに進みます。）

⑥ファイル削除

※ファイルの削除が完了すると、再生メニュー画面に戻ります。

⑦再生メニュー画面に戻る

⑧録画時間

ファイルの削除

■ ファイルを削除するには

ファイル選択後、再生画面の下部にあるゴミ箱アイコン「」をタップすると削除できます。削除実行ボックスが表示されましたら「はい」を選択し実行します。また、フロントカメラのファイルを削除するとリアカメラのファイルも同時に削除されます。



画面の表示

■ ポップアップ表示

- 操作内容や手順に応じてポップアップ表示がでる場合があります。画面の表示に応じて対応してください。



ポップアップ	どんな状態の時に？
microSD カードがありません。 microSD カードを挿入してください。	microSD カード未挿入状態で本体を起動した時
microSD カードが取り外されました。 microSD カードがありません。 MicroSD カードを挿入してください。	動作中に microSD カードが抜かれた場合。
microSD カードをフォーマットしますか？ ファイルをすべて削除します。 はい	フォーマットされていない microSD カードが挿入された場合。
microSD カードをフォーマットしますか？ ファイルをすべて削除します。 はい / いいえ	手動で microSD カードをフォーマットする場合。
microSD カードをフォーマットします。	フォーマット開始時。
microSD カードをフォーマットしました。	フォーマットが正常に完了された時。

画面の表示

■ ポップアップ表示（つづき）

ポップアップ	どんな状態の時に？
SDカードエラー	カードのフォーマットが失敗された時、エラーの microSD カードが挿入された時
現在のファイルを保護します。	衝撃を検知した時
手動録画を開始します。	手動録画ボタンを押した時
See You !	ACC-OFF してシャットダウン時
フロントカメラ接続異常確認してください	いずれかのカメラの接続に異常が出た時。コネクタを確認してください。異常が解消されるまで表示されます。
リアカメラ接続異常確認してください	
駐車録画をオンにします。	駐車監視設定がオン状態で、ACC-OFF 後待機状態に入る時
タイムラプスモードに入ります。	タイムラプス設定がオン状態で、ACC-OFF 後タイムラプス録画に入る時

専用ビューア

ビューアソフトでは microSD カードに保存された映像と、走行した位置や G センサー情報の確認ができます。

本機で録画した映像は一般の動画再生プレーヤーでも再生できますが、走行位置や G センサー情報は表示されません。走行した位置を確認するには専用ビューアが必要です。

専用ビューアのダウンロードファイルは、本機に挿入した microSD カード内に自動的に作成されます。

※走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。接続していないときは地図が表示されません。

● 動作条件

対応 OS	Windows 11(64bit)
CPU	Intel Core i5 以上
GPU	DirectX 9.0c 以上が動作すること
メモリー	8GB 以上
HDD 空き容量	4GB 以上
ディスプレイ	WXGA (1280×768) 以上
サウンド	Windows で動作可能な再生機能
その他	<ul style="list-style-type: none">・インターネット接続環境・microSDHC/SDXC カードを接続可能なメモリーカードリーダー、ライター

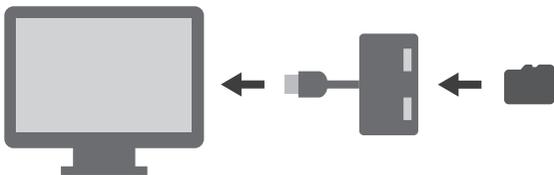
※条件を満たしたすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

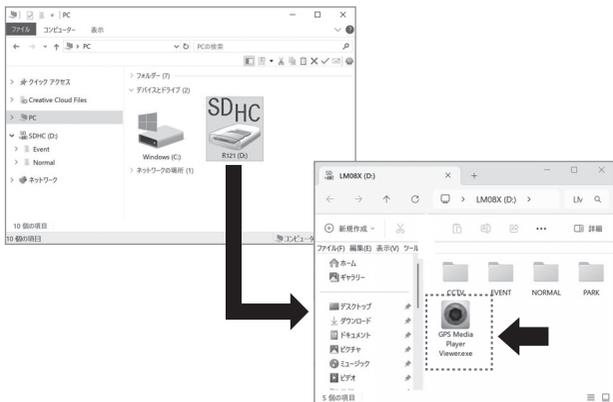
専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

1. パソコンに SD カードリーダーライターを接続します。
 - ※ 使用方法はリーダーライターの取扱説明書をご確認ください
 - ※ パソコンに直接 SD カードを接続できる場合はリーダーライターは必要ありません。



2. SD カードリーダーライターに microSD カードを挿入します。
 - ※ 必要に応じて同梱の SD カードアダプターを使用してください。
3. リムーバブルディスクを開き、ダウンロードファイルをダブルクリックし、PC のガイダンスに従い、インストールします。



専用ビューア

■ 専用ビューアをインストールする

4. ファイルをダウンロード後、セットアップウィザードが表示されますので、内容を確認して「Next」をクリックします。以降は画面の指示に従い、インストールを進めます。



5. インストールが終わるとパソコンのデスクトップにショートカットアイコンが作成されます。



専用ビューア

■ 操作画面の構成



1. **再生画面**
ファイルを再生すると映像が表示されます。(初期設定は2画面です)
2. **ファイルの読み込み**
プレイリストに表示するファイルを選択します。(⇒P.62)
3. **設定**
再生画面数、再生スピード、言語、地図の種類等を設定します。
※再生画面数は、変更する度にファイルを読み込まなければいけません。
4. **バージョン情報**
クリックすると、バージョンを表示します。
5. **ファイル名表示**
再生中のファイル名を表示します。
6. **再生画面の拡大**
再生画面のみが拡大されます。
7. **再生カメラの表示**
再生しているカメラを表示します。
フロント：フロントカメラ、リア：リアカメラ

専用ビューア

■ 操作画面の構成 (つづき)

8. **カメラ切り替え**
再生画面に表示するカメラ映像を切り替えます。
押す度にフロント / リアが切り替わります。
(1画面表示の時のみ表示されます)
9. **再生位置**
ファイルの再生箇所を表示します。
10. **前のファイル**
プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。
11. **10秒戻る**
ファイルの再生されている位置を10秒戻します。
12. **再生 / 一時停止**
プレイリストで選択されているファイルを再生します。
13. **10秒早送り**
ファイルの再生されている位置を10秒早送りします。
14. **次のファイル**
プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。
15. **画面の保存**
ビューアに表示されている映像を画像として保存します。
(⇒P.65)
16. **連続再生**
選択したファイルの再生が終わると次のファイルが再生されます。
17. **映像の表示倍率**
画面内に表示している映像の表示倍率を設定できます。
×0.5 / ×1.0 / ×1.5 / ×2.0
18. **音量**
バーをクリックしたまま上下操作で再生音量を調整します。

専用ビューア

■ 操作画面の構成



①9. 速度表示

GPS 信号から算出した速度を表示します。
※実際の速度とは異なることがあります。

②0. 緯度経度表示

GPS で受信した、自車位置の緯度経度を表示します。

②1. G センサーグラフ

G センサーが記録したデータを表示します。

②2. 地図の更新

表示している地図の更新を行います。

②3. 走行位置表示

インターネットの地図上に走行位置を表示します。
※インターネットの接続環境が必要です。接続していないときは表示されません。
※GPS 衛星からの信号の受信状況によって、実際に走行した位置と地図上の位置にズレが生じたり、正しく表示されない場合があります。
※位置情報が記録されていないファイルを再生した場合は表示されません。
GPS 信号受信についての注意事項は (⇒P.11) をご確認ください。

②4. プレイリスト

読み込んだファイルが表示されます。
※プレイリストにはフロントカメラのデータのみ表示されます。

専用ビューア

■ 動画の再生

本機で録画した映像を専用ビューアを使い再生します。

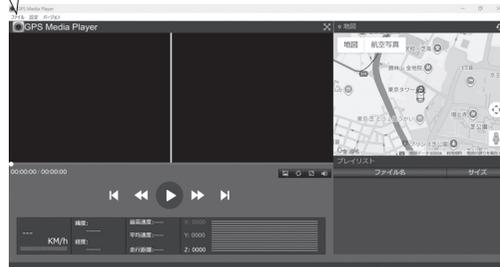
1. ドライブレコーダー本体から抜いた microSD カードを、付属の SD カードアダプターやカードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. デスクトップの「GPS Media Player」のショートカットアイコンをダブルクリックして、専用ビューアを起動させます。



GPS Media Player

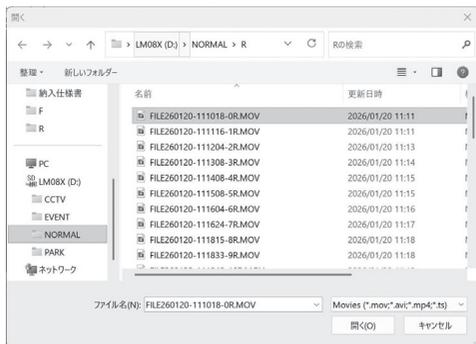
← ビューアソフト
ショートカットアイコン

3. 左上の「ファイル」→「開く」をクリックします。



専用ビューア

4. ダイアログが表示されますので、読み込みたいメディアからファイルを選択します。フォルダーの選択は出来ませんので、必ずファイル名を選択してください。ファイルを1つ選択すればフォルダー内のファイルが全て読み込まれます。フロントカメラの映像ファイルを選択すれば、リアカメラの映像も再生されます。



5. microSD カード内のファイルが読み込まれます。ビューアのプレイリスト内にファイルが表示されますので、再生したいファイルを選択して、再生をクリックします。

専用ビューア

■ 画面の保存

ビューアに表示されている画面を画像として保存します。

1. 再生中、または一時停止中に「画面の保存」をクリックするとダイアログが表示されます。



画面の保存

2. 保存先を決め、ファイル名を入力します。ファイルの種類を選択して、保存をクリックします。ファイル名にはフロントが表示されていますが、フロント/リアが同時に保存されます。



専用ビューア

■ バージョンの確認

左上の「バージョン」をクリックするとバージョン情報が表示されます。



製品仕様

本体

録画ファイル	常時録画 / 衝撃検知録画 / 手動録画 / 駐車監視録画 / タイムラプス録画	
録画時間 (1ファイル)	常時録画	60秒
	衝撃検知録画	前3秒 / 後27秒 ※1
	手動録画	前3秒 / 後27秒 ※1
	駐車監視録画	衝撃検知後30秒
	タイムラプス	60秒
画面サイズ	10.66インチ タッチパネルディスプレイ	
音声録音	オン / オフ 切り替え可能	
GPS	有り (内蔵 : みちびき対応)	
Gセンサー	有り (オフ、低感度 / 中感度 / 高感度の3段階レベル調整) ※常時録画 / 駐車監視録画それぞれ設定が可能	
スモークガラス設定	オフ / Lev1 (ガラスの色薄い) / Lev2 (ガラスの色濃い)	
メモリーカード	microSDHCカード : 16 ~ 32GB microSDXCカード : 64 ~ 128GB スピードクラス CLASS10以上	※2
電源電圧	車両側入力電圧 : DC12V (6.5 ~ 18V) / DC24V (18 ~ 36V) (付属の車両直結用電源ケーブル使用)	
	本体入力電圧 : DC12V (6.5 ~ 18V) / DC24V (18 ~ 36V)	
消費電流 (フロント/リアカメラ) 接続時	常時録画中	DC12/24V : 約 970mA / 490mA 最大約 1410mA / 700mA
	駐車監視待機中	DC12/24V : 最大約 7.2mA / 4.2mA
	駐車監視録画中	DC12/24V : 最大約 550mA / 290mA
	タイムラプス中	DC12/24V : 最大約 520mA / 280mA

※1 衝撃の検知、手動録画は、タイミングによって録画時間が異なります。

※2 上記以外の microSD カードは使用できません。すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。

製品仕様

本体 (つづき)

サイズ	約 257(W)×74(H)×48.9(D)mm
質量	約 490g
録画方式	H.264(MOV)
動作温度範囲	-20℃~+65℃

※1 衝撃検知録画、手動録画は、タイミングによって録画時間が異なります。

※2 すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。

※3 上記以外の microSD カードは使用できません。

フロント / リアカメラ

フロントカメラ	センサー	CMOS 約 200万画素
	レンズ画角	水平 : 110° / 垂直 : 59° / 対角 : 131°
	最大記録画角	水平 : 100° / 垂直 : 53° / 対角 : 120°
	F 値 / 露出補正	2.0 / WDR
リアカメラ	センサー	CMOS STARVIS 約 200万画素
	レンズ画角	水平 : 116° / 垂直 : 62° / 対角 : 140°
	最大記録画角	水平 : 111° / 垂直 : 53° / 対角 : 125°
	F 値	1.8 / HDR
録画サイズ	Full HD (1920×1080P)	
フレームレート	フロント 27.5fps / リア 55fps	
サイズ	約 55(W)×37(H)×41.5(D)mm	
質量	フロント : 約 37g / リア約 : 51g	
動作温度範囲	-20℃~+65℃	